

ぴたらファーム 通信

●畑の状況

暑さ寒さも彼岸までとは言いますが、まさにその言葉通り、畑の隅に花火のよう彼岸花が咲き始めたとともに寒さがやってきました。ビニールハウス内の最低最高温度計では、最高気温 30 度最低気温 7 度を記録。10 度を切ったことで、生き残っていた夏野菜が縮こまるかのようです。寒さに負けまいと、トマトは皮を固くし、オクラは一部が赤くなり糖分をだして身を守ろうとしています。

季節に合わせて野菜も適応し少しずつ形を変えていく様子も楽しんでいただけたらと思います。

夏の間、大活躍した 1 作目 2 作目のきゅうりの残渣を片付けをしていた時、敷かれていた藁や草のマルチをどけてみると、たくさんの微生物や虫が棲んでいて、土がとてもふかふかしていることに気づきました。

きゅうりの茎を引っっこ抜いてみると意外と太く、水分がしっかり含まれていそうな根っこが、浅くひろくみっしりと生えていました。根っこが土を耕し、その根に微生物が集まりその微生物を食べるより大きな虫が集まり、というミクロの世界の壮大なエネルギー循環により土はいつの間にかふかふかな土になっていたのです。

これを活用する手は無いと思い、その場所にターサイの苗とコールラビの苗を定植しました。

これから寒くなったらアーチにビニールを張り、ちょっとした寒さよけもプラスできたら、いい栽培方法が確立できるかもしれないと期待をしています。

今週のかぼちゃは、いつもお世話になっている有機農家の身体気象農場さんからの仕入れです。栗も身体気象農場さんの敷地内から取らせてもらいました。栗はその甘みがゆえ、虫達も大好きです。細かくチェックをしていますが、既に虫が潜んでしまっていて虫が出てくることもありますので、予めご了承ください。中秋の名月にあわせて、栗ご飯などをお楽しみください。 by 彩華（畑・こかぶ犬担当）



●ぴたらぶ田んぼ

稲刈りがはじまりました！黄金色に染まった稲穂はとてもきれい。端から順次バインダーを入れていきます。

小さな機械からポーンと弾き出される稲束をはざ棒にかける作業は楽しいもの。単なる作業というより何だか風景を作り上げているような気分さえなってしまう。

本当にいい風景でしょ（写真左）。By 泰斗

●ファームの様子

ぴたらファームでは 9/22(土)-23(日)にコンポストトイレづくりのイベントを行ないました。半年に渡りシリーズで行なわれてきたイベントも遂に最終回です。沢山の参加者にお越し頂きトイレの土壁塗りを行ないました。

今回は土壁塗りと並行してボトルウォールづくりも行ないました。土壁の中に色彩豊かなボトルが埋め込まれ、外からの光が差し込むと、参加者の方々からは歓声が上がりました。その余りの出来栄に、トイレとして使用するのが若干もったいない気もします(笑)

イベントとしてのトイレづくりは終わりましたが、まだまだ手を加えるところが沢山あります。是非お手伝いがしたい、という方がいらっしゃいましたらお気軽に連絡を下さいね(^_^) By 真吾（畑・イベント担当）



光が差し込む室内の様子



<コラム:東京発スローライフ②> 槍ヶ岳で足がすくむ

このコラムは東京でファームの運営を担当している大樹が書いています。

北アルプスの槍ヶ岳に登ってきました。自分にとっては槍ヶ岳というと、長年の憧れでもあり、崇高な山なのですが、下山して帰ってきて職場などで話していたら槍ヶ岳を意外にも知らない方が多いのには驚きました。ですので、簡単にご説明を。槍ヶ岳は、北アルプスを代表する 3180mの山であり、そのピラミッドのような岩峰で、どの山からも見える山として有名であり、深田久弥の百名山の一つであり、山登りをする人にとっては憧れです。

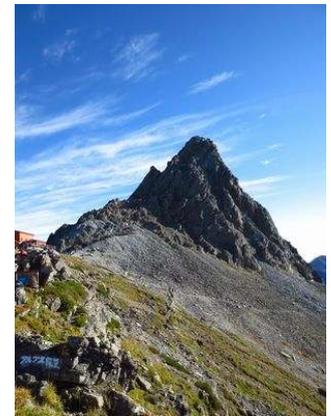
さすが岩山だけあって、ピーク直下には、直角に立てられた梯子が3本ありました。何かの拍子で足を滑らしたが最後、そのまま三途の川(あの世)が待っています。さすがに少し緊張します。梯子を登っていると、自分は間違っても落ちて死にたくなんかないのだと生への未練があることを感じます。普段の生活のなかで、果たして、自分の生命がかかっているという状況がどのくらいあるでしょう。

まったく、日本という国は安全で安心な国です。僕は、30カ国以上これまで旅をしたことがあるのですが、日本では、ベトナムのようにバイクとぶつかりそうになることもないし、グルジアのように殺人がいつ起きるかわからない状況でもないですし、銃弾が飛び交う心配がないですし、南欧のようなスリすらもない。基本的に僕らは緊張せず、安穩としています。逆に、そのために生命のありがたみがわかりにくいといった状況があります。

農業に関わっていると、もう少し、自分の生命というものを意識します。一つ間違えば大事故になりかねない農業機械を扱っていますし、鉋や鋸といった道具でもいくらでもけがに繋がります。でも、逆説的に、だからこそ、面色味があるように思います。

槍ヶ岳に登れたことで、来年あたりは、さらにもっと急峻な穂高に行きたいという気持ちが強くなってきました。そうした岩山に登って、果たして自分がどんな感情をもつのか、そんなことが今から楽しみです。

(運営担当:大樹)



<<ファームからのお知らせ>>

●野菜セット次回のお届けについて 隔週の方⇒10月13日(土)、毎月(最終週)の方⇒10月27日(土)

●野菜セットの代金お支払い方法について

- ・定期(毎週 or 隔週 or 毎月)⇒月末にE-mailでご請求いたします。
- ・お試し1回注文 ⇒野菜セットのボックスに請求書を同封します。

●ファームのお米とお味噌が送られてくる! ぴたらぶ会員(会費1万円/年)募集中!

●ファームのスケジュール 9/29-30 稲刈りイベント、10/6-8 オープンファーム

●野菜の品質について

ぴたらファームでは、収穫・送付時にチェックを行って野菜を万全の状態でお届けしています。しかし、無農薬栽培のため、虫の混入や運送時の温度条件等により野菜に傷み等が出てくる可能性もあります。もし、そうした野菜がございましたら、どうぞ、遠慮なくご連絡ください。次回の送付時に代替りの野菜をお送りします。

また、野菜セット全体にご不満のある場合には、代金はいただきませんのでご連絡ください。

ぴたらぶ

～自然循環型のオーガニック・ファーム～

〒408-0313 山梨県北杜市白州町横手 1118



たさいたいと 田才泰斗、あおきさいか 青木彩華、くりやしんご 栗谷真吾、なかの なかの 中野ちはる、かわもりまami 川森昌美 (畑担当) たさいたいじゅ 田才大樹、たさいさとこ 田才暁子 (運営担当)

携帯: 090-2055-3424、TEL/FAX:0551-35-2793 pitarafarm@gmail.com http://pitarafarm.com